

高齢者災害時医療ガイドライン

——2011——

(試作版)

厚生労働省 長寿科学総合研究事業

「災害時高齢者医療の初期対応と
救急搬送基準に関するガイドライン」

研究班

社団法人 日本老年医学会

初版：平成 23 年 3 月 23 日
第 2 版：平成 23 年 8 月 17 日

はじめに

【本ガイドライン作成にあたっての経緯】

本国は地震、台風、津波などの様々な災害が多い国である。その災害時において、被災高齢者に対する医療は非常に重要である。

そこで厚生労働省・厚生労働科学研究費補助金を受け、長寿科学総合研究事業の一環として、平成 22 年度から「災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン」を作成する研究班が立ち上がった。本ガイドラインの作成にあたり、平成 23 年度内の完成を目標に準備を進めてきた。

今回、東北地方太平洋沖地震が発生してから、被災された高齢者の方々に対する医療現場の厳しい現状が数多く報告されている。よって、本ガイドライン作成に当たった研究班および日本老年医学会は、今回、本ガイドライン「高齢者災害時医療ガイドライン」および「一般救護者用・災害時高齢者医療マニュアル」を現段階では試作版ではあるが、被災地の高齢者医療の現場で一刻も早く役立てていただきたく、今回公表に踏み切った。本ガイドラインを現在行われている被災地での高齢者災害時医療の一助にして頂ければ幸いである。

厚生労働省 長寿科学総合研究事業

「災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン」研究班

社団法人 日本老年医学会

(制度名) 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金

(事業名) 長寿科学総合研究事業

(研究開発課題名) 災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン

研究代表者	森本 茂人	金沢医科大学高齢医学
研究分担員	和藤 幸弘	金沢医科大学救急医学
	高橋 孝	北里大学大学院感染制御科学府感染症学
	飯島 勝矢	東京大学加齢医学
	横野 浩一	神戸大学総合内科学
	葛谷 雅文	名古屋大学老年内科
	服部 英幸	独立行政法人国立長寿医療研究センター精神医学・老年医学
	中橋 毅	金沢医科大学総合医療学
	久藤 茂	医療法人社団慈豊会久藤総合病院 (加賀市医師会)
研究協力者	南出 寛人	加賀市総務部防災防犯対策室
	大黒 正志	金沢医科大学高齢医学
	小倉 憲一	金沢医科大学救急医学
	眞柴 智	金沢医科大学救急医学
	勝見 敦	武蔵野赤十字病院救命救急センター
	稲松 孝思	東京都健康長寿医療センター臨床検査科
	後藤 美江子	東京大学医学部微生物学
	原 賢太	神戸大学総合内科学
	安田 尚史	神戸大学総合内科学
	百道 敏久	名谷すみれ苑
	高田 俊宏	大阪府済生会中津病院
	明寄 太一	神戸大学総合内科学
	前田 潔	神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法学科
	亀山 祐美	東京大学加齢医学
	山口 潔	東京大学加齢医学
	山田 容子	東京大学加齢医学
	望月 諭	東京大学加齢医学
	秋好 沢諭	東京大学加齢医学
	矢加部満隆	東京大学加齢医学
	橋詰 剛	東京大学加齢医学

目次

【Ⅰ 災害発生時の経時的な医療需要予測・評価】

1. 災害時の医療需要の経時的変遷 -1-
2. 災害時亜急性期の医療需要の種類 -2-
3. 災害時慢性期の医療需要の種類 -4-

【Ⅱ 避難所における高齢者急性期疾患発症と初期対応、搬送基準】

- 高齢者救急疾患 -5-
- (ア) 創傷 -6-
 - (イ) 骨折 -6-
 - (ウ) 頭部外傷 -7-
 - (エ) 深部静脈血栓・肺塞栓症 -17-
 - (オ) クラッシュ症候群 -17-
 - (カ) 熱傷 -18-

【Ⅲ 避難所における高齢者慢性期疾患発症と対応、搬送基準】

1. 心血管疾患（虚血性心疾患、心不全、心疾患など） -21-
2. 高血圧 -30-
3. 脳血管障害・脳卒中 -34-
4. 感染症（肺炎、インフルエンザ、感染性胃腸炎、食中毒、尿路感染症、蜂窩織炎、結核など） -38-
5. 内分泌・代謝疾患（糖尿病、痛風など） -56-
6. 呼吸器疾患（喘息、慢性閉塞性肺疾患など） -61-
7. 腎疾患（感染症、クラッシュ症候群を除く） -66-
8. 消化器疾患 -71-
9. 脱水症 -74-
10. 栄養障害 -79-
11. 精神疾患 -84-
12. 泌尿器科疾患 -106-
13. 歯科疾患 -108-
14. 老年症候群（褥瘡、寝たきり、廃用症候群など） -112-

【Ⅳ 災害現場、避難所、仮設住宅における高齢者の主要症候と初期対応法】

1. 脳心血管系疾患の症候

(ア) 胸痛	-116-
(イ) ショック	-121-
(ウ) 言語障害	-124-
(エ) 意識障害・失神	-126-
(オ) 頭痛	-130-
(カ) 麻痺	-134-
(キ) 痙攣	-138-
(ク) めまい	-141-
(ケ) 浮腫	-145-
(コ) 呼吸困難（循環器疾患に関連したもの）	-149-
2. 感染症の症候	
(ア) 呼吸困難	-153-
(イ) 発熱	-159-
(ウ) 咳・痰	-163-
(エ) 喀血	-167-
3. 精神疾患の症候	
(ア) せん妄	-171-
(イ) うつ状態	-177-
(ウ) 物忘れ・認知症	-181-
(エ) 不眠	-185-
4. 消化器疾患の症候	
(ア) 嚥下障害	-190-
(イ) 腹痛	-194-
(ウ) 下痢	-201-
(エ) 吐血	-206-
(オ) 下血	-210-
(カ) 便秘	-213-
5. 泌尿器症候	
(ア) 乏尿・無尿	-218-
(イ) 血尿	-222-
(ウ) 尿失禁	-225-
6. 転倒・骨折	-228-

【V 一般避難者、非医療関係救護者からの高齢者の症候に関する医療班への伝達経路】

伝達経路	-233-
------	-------

【VI 自治体の初期対応と福祉避難所設営】

1. 避難所トイレの設営と衛生管理 -236-
2. 入浴サービスの設営 -239-
3. 総合防災情報システムの構築（平時および災害時の運用）
（防災伝言ダイヤルを含む） -240-
4. 生活機能評価 -243-

【VII 自治体他の医薬品、医療機材の備蓄】

1. 管理部門備品（品数と量の検討）★：Harricane Katrina の教訓 -245-
2. 備蓄医療材料・医療機器（品数と量の検討）★：Harricane Katrina の教訓
-246-
3. 備蓄医薬品 -249-
 - 輸液、栄養、消化器用薬
 - 循環器用薬、降圧薬
 - 抗生物質、消毒薬、呼吸器薬
 - 慢性疾患治療薬（降圧薬を除く）
 - 泌尿器、歯科医薬
 - 向精神薬
 - 救急薬品

【VIII 高齢者家屋の防災処置】 -270-

【IX 高齢者の災害時緊急持ちだし用品】 -271-

【X 様式集】

1. 処方箋 -272-
2. カルテ用紙 -273-
3. バイタル、主訴収集用紙 -275-
4. 薬物管理用紙 -279-
5. 物品管理用紙 -285-
6. 生活機能評価票（地域包括支援センター使用） -295-
7. 長谷川式簡易知能スケール -296-

8. Barthel index	-297-
9. Lawton instrumental ADL	-298-
10. Geriatric Depression Scale	-299-

【XI 過去の災害における高齢者医療出動の内容（65歳以上の高齢者を中心に）】

1. 阪神淡路大震災：平成7年（1995年）	-300-
2. 新潟県中越地震：平成16年（2004年）	-308-
3. 能登半島地震：平成19年（2007年）	-314-
4. 海外エビデンス	
(ア) Hurricane Katrina 2005	-319-

※

本ガイドラインに掲載されている図表に関しまして、今回は緊急時試作版のため図表の著作権調査に不備がある場合があります。

また、この試作版の商用目的での使用はご遠慮下さい。